

第49回 巣鴨学園少年剣道大会

日時:平成27年9月4日(日)

会場:巣園ギムナシオン

上記大会が行われ、小学生個人戦の部で優勝(藤田快生)、小学生団体戦の部2回戦敗退。
中学生個人選の部準優勝(藤田航洋)、中学生団体戦の部2回戦敗退でした。
出場選手は以下のとおりです。

小学生の部

監督	個人戦	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
藤田 洋一	藤田 快生 (中央剣道会)	亀山 源和 (染地)	小谷野 貴也 (聖武会)	秋庭 佑有 (聖武会)	与座 麗奈 (染地)	藤田 快生 (中央剣道会)

団体戦 2回戦で三菱剣友会に敗退

個人戦 優勝

中学生の部

監督	個人戦	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
藤田 洋一	藤田 航洋 (中央剣道会)	河野 将太 (中央剣道会)	河野 賢太 (中央剣道会)	雄谷 淳史 (第七機動隊)	秋本 乃里子 (第七機動隊)	藤田 航洋 (中央剣道会)

団体戦 2回戦で世田谷区(国士館中)に敗退

個人戦 準優勝

※詳細別紙

監督コメント(小学生)

試合で一本を決めるには、普段の稽古、特に基本技の稽古をきっちりと出来るようにすることが大切です。いつも言いますが、稽古で100%正確に技を出せる人でも試合では50%しか一本にすることができません。そして団体戦の戦い方を良く勉強しましょう。試合数を積み重ねていかないとなかなか難しいのかもしれませんが、後ろにつなげる試合運びが大切です。自分の前の選手が負ければ自分が取り返して後ろの選手につなげる、自分が勝てば勝った勢いを大切に後ろの選手につなげて下さい。団体戦では「引き分け」も勝敗を左右するポイントです。積極的に攻めて「先」を取るように心がけましょう。

個人戦、快生よく頑張りました。決勝戦は30分を超える延長戦となりましたが、序盤から終始積極的に攻め続けました。苦しいところを凌いで小手面一面と連続技を繰り出し素晴らしい面を決めました。どんなに苦しくても攻める気持ちを持ち続けて戦えばどこかで勝機が訪れます。あきらめない気持ち、相手に応じて技を繰り出すといったお手本のような試合振りでした。

監督コメント(中学生)

中学生、1回戦序盤は落ち着きのない試合運びでした。気迫でも相手に圧倒されてしまいました。副将・大将で取り返して逆転勝利を収めることができました。副将の乃里子の気迫、積極的に仕掛けて取りに行く試合運びを是非参考にしてもらいたいと思います。すばらしい内容でした。2回戦目は強豪の世田谷区(国士館中)との対戦でした。先鋒の将太が1回戦目とは打って変わって素晴らしい試合を見せてくれました。相手の強打に怯まず果敢に1本を取りに行きました。見事な面でした。試合有利に進めるには、「先」を取る事が大切です。皆わかっているはずですが、実際の試合ではそれが出ていません。普段の稽古が全てです。常に課題を持って稽古に臨むようにしましょう。

個人戦、航洋よく頑張りました。決勝戦は隣の試合場での小学生決勝で快生が30分を超える延長戦を戦っているなかで、航洋も中学生決勝を同時並行して30分近い延長戦を戦いました。試合内容は圧倒的に航洋に分がありました。有効打突とみられる打突が何本もありましたが審判の手が上がりませんでした。結局は途中水入り後の罅迫り合いから引き小手を取られてしまいました。今後の課題としては非常に高度な課題ですが、審判の手を確実に上げさせる技術(機会・技・打突)を研究して下さい。